



# うさぎぐみだより 8月



2021年8月2日 保土ヶ谷保育園

うさぎ組担任

## 最近のうさぎぐみ

うさぎぐみになって早くも4ヶ月が過ぎました。

新入園のお友だちともすっかり仲良くなって、朝保育室の入り口で出迎えたり、名前を呼び合う姿を見て嬉しくなります。

なかなか外に出られなかった梅雨も終わり、体調不良の波も乗り越え、夏らしい暑さが始まり、子どもたちのワクワクした笑顔に元気をもらっています。

5月からトイレに行く習慣をつけることを目標に、外出前・食事前・午睡明けなどにトイレへ行き始めたうさぎぐみ。最初は嫌がる姿もありましたが、今では自ら進んでトイレへ行く子も増えてきました。便座に座る→自分でオムツを履き替える→座って出た！→オムツが濡れていない→トイレで出た！と、それぞれのペースに合わせて進めています。ちょっと先に行く友だちから刺激を受けたり、できた！という嬉しい気持ちに共感し、焦らずにたくさん褒めながら、頑張る姿を見守っています。

様々な場面で、子どもたちが「見て！」と自信がついた表情を見せてくれるのが楽しみな毎日です♪

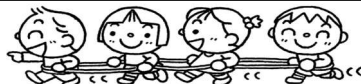


## 今月の活動

- ・室内遊びは、全身運動や手指を使って夏気分を感じる制作、簡単なルールのある遊びをします。
- ・テラスに遮光ネットを張って、暑い日には水遊びもたくさんしたいと思っています！

☆おすすめの絵本☆

「そらいろのたね」 「むしのかお」



## おねがい

- ・持ち物の名前を再度ご確認の上、記名をお願いします。特に、靴下・エプロン・肌着は名前が消えかけているケースが多く見られます。また、スポンは同じようなものが多いので、必ず確認をお願い致します。
- ・お子様自身の着脱のしやすさや、遊んでいる時の安全のために、成長に合わせた服装の確認をお願い致します。
- ・靴の大きさや着脱のしやすさ、歩くとき脱げないのかもご確認をお願いします。マジックテープで止めるタイプの靴が、履き口を大きく広げられ、脱げにくいのでおすすめです。

## 子どもの問題行動？！

毎日子どもと接している中で、大人が「困る」と感じる行動は意外とあるのではないのでしょうか。

困る事＝問題行動と感じて、「やめなさい」と言いたくなってしまいうこともあると思います。

先日、「自分の普通は普通ではない」という話を聞きました。社会の中で、自分基準で「どうして？」と相手を腹立たしく思ってしまうことはよくあります。でも、「自分の普通は普通ではないかも」と考えるとき、相手の行動を客観的に冷静に見ることが出来ます。すると解決の糸口が見えたり、イライラしたりせずに済むこともあります。

子どもに対しても同じかもしれません。まだ生まれて数年の彼らにも、彼らなりの「普通」があるのかもしれない。「やめなさい」の前に「どうして○○なの？」と優しく聞いてあげること、一緒に考えてみるのが大切なのかもしれない、そうすることで気持ちの余裕がうまれるのかも教えてくれたお話でした。

